

ファインステージⅡ・階段 取付説明書

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますので使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やガラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。ポール内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- 基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。また、寒冷地はその地域にあった基礎工事を行ってください。
- 地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 施工時に取付ビスを締付け過ぎないようにしてください。
- 改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。



使用上のご注意について

- 樹脂は弱酸、弱アルカリ、食塩水、アルコール（水でうすめたもの）には優れた抵抗性をもっていますが、濃酸、濃アルカリ、また、シンナー、ベンゼン等の有機溶剤や石油類は使用しないでください。

- デッキの近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると変形、割れを生じることがあります。
- 樹脂は、微小火源には着火しにくくなっていますが、火気には十分にご注意ください。また、70℃以上になると変形しますので、近くで焚き火をしたり高温のものを近づけたりしないでください。

樹脂製品のお手入れ方法について

- 洗浄方法：中性洗剤を所定の割合で水で希釈し、布巾などで部材の長手方向に擦るように拭き、最後に水で洗剤をきれいに洗い流してください。※月に数回の水洗いと、空ぶきだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
- 汚れキズ等の補修：まず、表面の汚れを雑巾などで拭き取ってください。その後、汚れキズ部分をサンドペーパー（#40～60）を長手方向に擦り、汚れキズを取り除いてください。最後に表面の削り粉を清掃してください。

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いが確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

梱包名称		梱包内容	※表内の（ ）は個数を表しています。
階段材	1段	アルミ構造材	階段側板 [L=770]（左・右各1）・踏板前部 [L=702]（1） 部品セット [踏板補強部品（4）・踏板取付ブラケット（左右各1）・側板小口キャップ（2）・階段取付ブラケット（2）階段取付アングル（2）・側板固定金具（2）・側板下部キャップ（左・右各1）・フィッシャープラグ（2）φ5×38 木ネジ（2）・M8×18 六角ボルト（2）・M8 用六角ナット（2）・M8 用平座金（2）・M8 用バネ座金（2）φ4×25 セルフドリリングビス（20）・φ5×16 ナベタッピン 1種（7）・φ5×10 トラストッピン 3種（4）φ4×13 皿タッピン 3種（8）・φ4×13 セルフドリリングビス（6）・φ4×13 皿セルフドリリングビス（2）取付説明書 [ME-2087]（1）
		樹脂材	踏板 [L=692]（1）・側板カバー（左・右各1）・φ4×20 皿タッピン 3種（8）
	2段	アルミ構造材	階段側板 [L=1053]（左・右各1）・踏板前部 [L=702]（2） 部品セット [踏板補強部品（8）・踏板取付ブラケット（左右各2）・側板小口キャップ（2）・階段取付ブラケット（2）階段取付アングル（2）・側板固定金具（2）・側板下部キャップ（左右各1）・フィッシャープラグ（2）φ5×38 木ネジ（2）・M8×18 六角ボルト（4）・M8 用六角ナット（4）・M8 用平座金（4）・M8 用バネ座金（4）φ4×25 セルフドリリングビス（32）・φ5×16 ナベタッピン 1種（10）・φ5×10 トラストッピン 3種（4）φ4×13 皿タッピン 3種（12）・φ4×13 セルフドリリングビス（6）・φ4×13 皿セルフドリリングビス（2）取付説明書 [ME-2087]（1）
		樹脂材	踏板 [L=692]（2）・側板カバー（左・右各1）・φ4×20 皿タッピン 3種（12）

納まり図

●施工前に必ず確認してください。

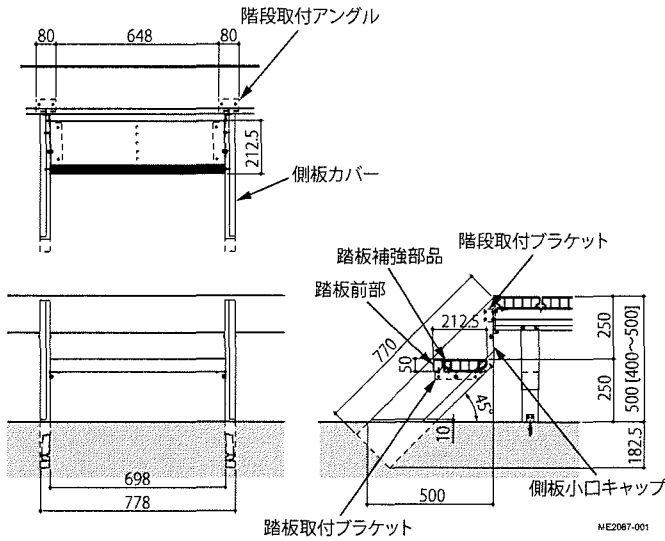
- 埋め込み納まりと固定金具納まりが可能です。
- 埋め込み納まりにする場合は、デッキ高さに合わせて埋め込み寸法を調整してください。
- 固定金具納まりの場合は、デッキ高さに合わせて側板を切断してください。
- どちらの納まりの場合も、側板カバーは基礎部分からの高さが10mmになるよう、切詰めてください。



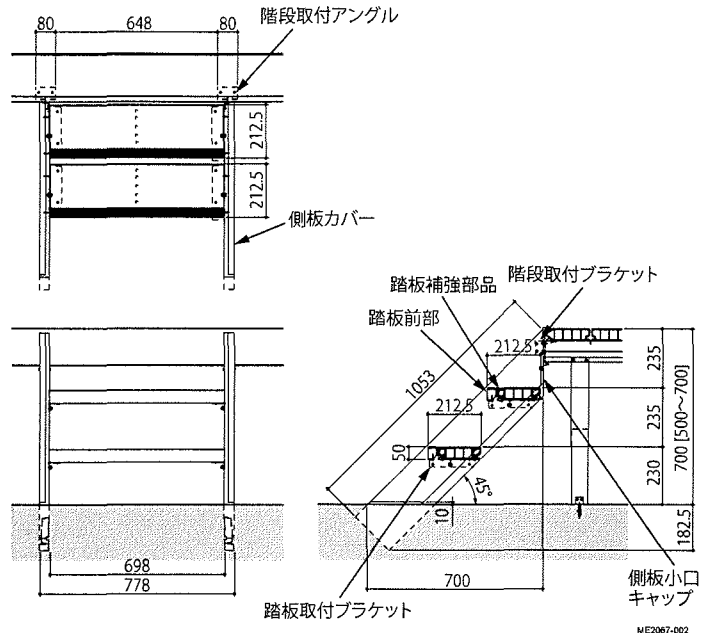
側板カバー（樹脂材）を埋め込まないでください。
※埋め込むと、樹脂材が破損する原因になります。

※本図は、直線用鼻隠し・調整式束柱使用の場合を示しています。
※ [] 内寸法は、施工可能範囲を示しています。

1 段納まり

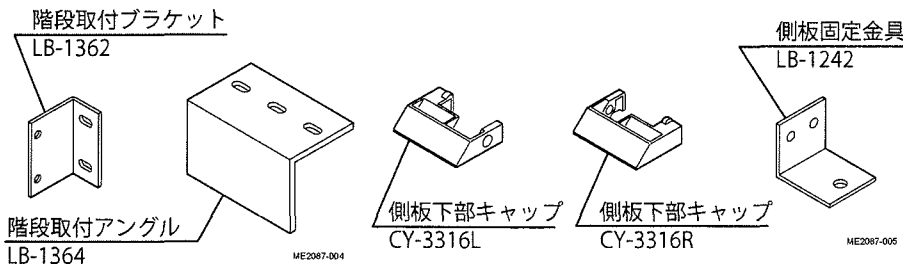


2 段納まり

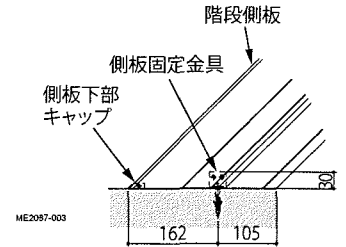


1 段納まりで標準固定式束柱を使用する場合は、デッキ高さ 500mm 以下になるよう束柱を切詰めてください。

●各部品の形状



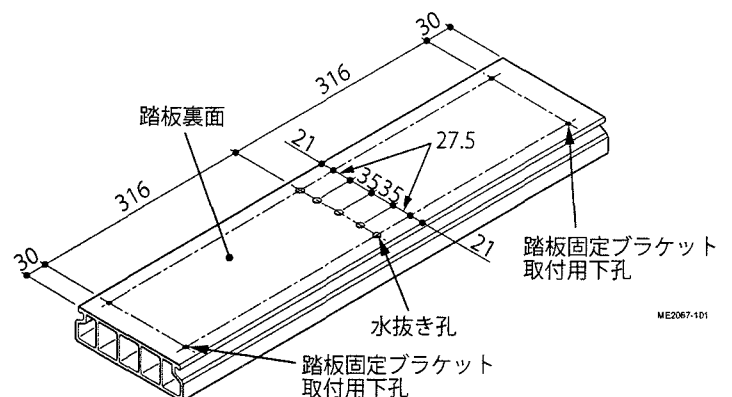
●固定金具納まり側板下部詳細 (階段内観)



1 踏板の組立て


① 図を参照して、踏板に孔加工を行ってください。

- 孔加工：踏板 1 枚につき
- 下孔 φ 5.5mm (各 4 ヶ所)
 - 水抜き孔 φ 10mm (各 5 ヶ所)




② 踏板補強部品を、踏板 1 枚につき 4 個差し込んでください。


③ 踏板の両端が 5mm ずつあくように位置を合わせ、踏板前部の両端をセルフドリリングビスで固定してください。

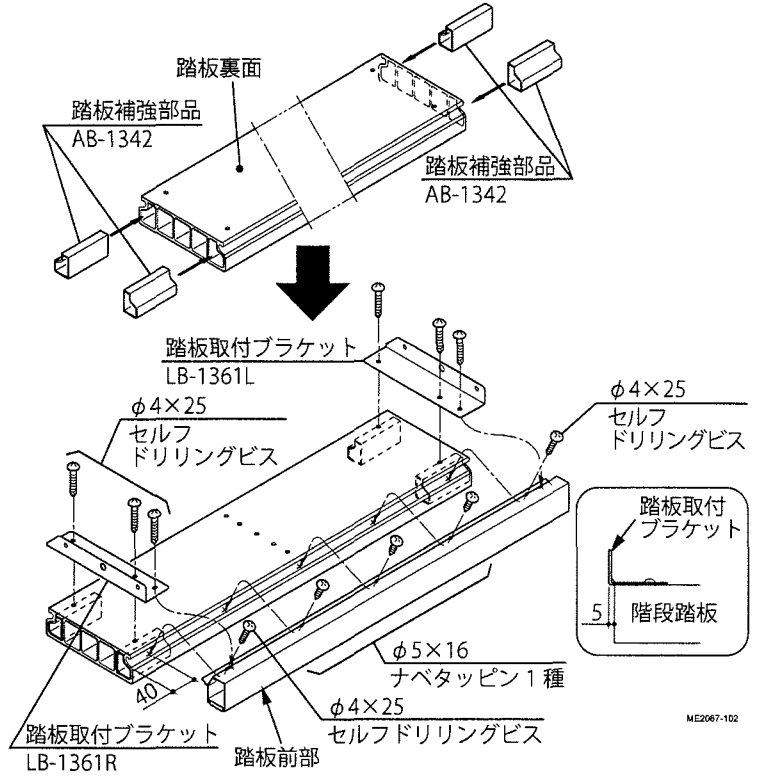
 踏板は、排水のため踏板前部より 10mm 短くなっています。

④ 踏板前部を踏板に取付けてください。


 踏板前部の取付ビスは、両端と中央で異なります。
 両端 (2ヶ所) : $\phi 4 \times 25$ セルフドリリングビス
 中央 (3ヶ所) : $\phi 5 \times 16$ ナベタッピン 1種

⑤ 踏板取付ブラケットを踏板に取付けてください。


 はじめに「手順①」であけた踏板の $\phi 5.5\text{mm}$ 下孔に取付け、その後、踏板前部に取付けてください。

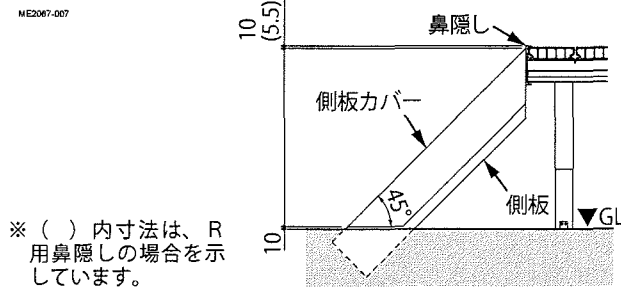


2 階段の組立て

 固定金具納まりの場合は、階段の基礎部分から鼻隠し上面までの高さに合わせて側板を切詰めてください。


① 納まり図および右図を参照して、側板カバーを切詰め、 $\phi 4\text{mm}$ の皿孔加工を行ってください。

 鼻隠し上面から下記の位置に合わせて切詰めてください。
 ● 直線用鼻隠しの場合 : 10mm 下の位置
 ● R 用鼻隠しの場合 : 5.5mm 下の位置



※ () 内寸法は、R 用鼻隠しの場合を示しています。

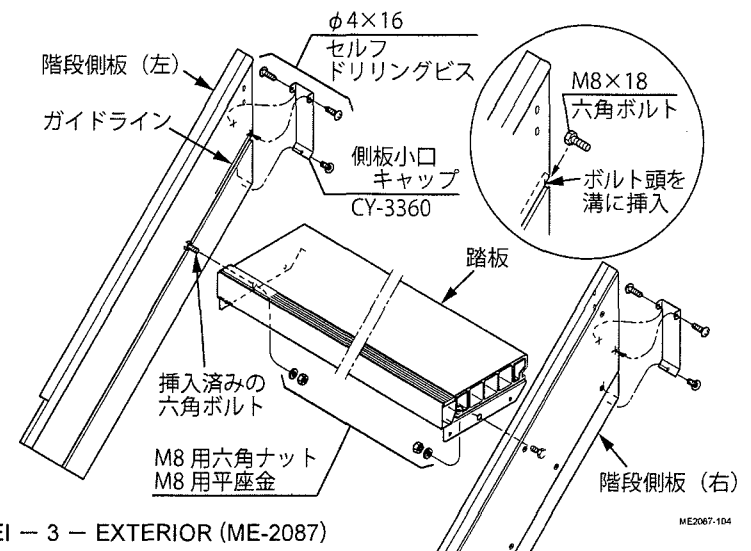
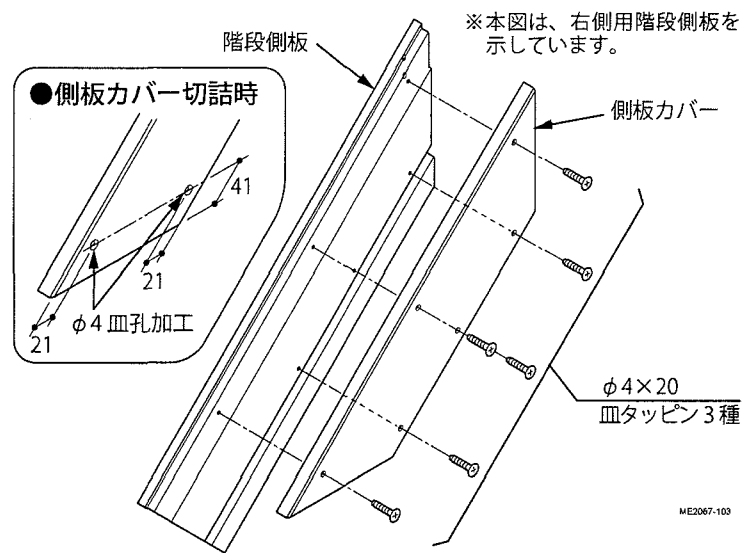
② 「手順①」の皿孔に合わせて階段側板に $\phi 3.5\text{mm}$ の下孔をあけ、側板カバーを取付けてください。

 側板カバーを切詰めなかった場合は、この手順は必要ありません。

③ 六角ボルトの頭を階段側板の内側の溝に挿入し、踏板取付ブラケットの中央の孔に仮止めてください。

④ 踏板の高さとレベルを調整し、ナットを仮締めしてください。

⑤ 側板小口キャップを側板の上部小口に合わせて $\phi 3.5\text{mm}$ の下孔をあけ、ビスで固定してください。



3 階段の取付け

①納まり図を参照して、階段の取付位置を決めてください。



階段取付アングルが大引きの小口と干渉する場所には、階段を取付けることができません。大引きを避けて位置を決めてください。



埋め込み納まりの場合は、側板の埋め込み位置に基礎穴を掘ってください。

②階段取付アングルを、階段取付ブラケットの取付位置に合わせて鼻隠しの裏側のデッキ材に取付けてください。

③階段取付ブラケットの取付位置を確認して、鼻隠しとアングルに $\phi 3.5\text{mm}$ の下孔をあけビスで固定してください。



ブラケットの上面が水平になるようにしてください。

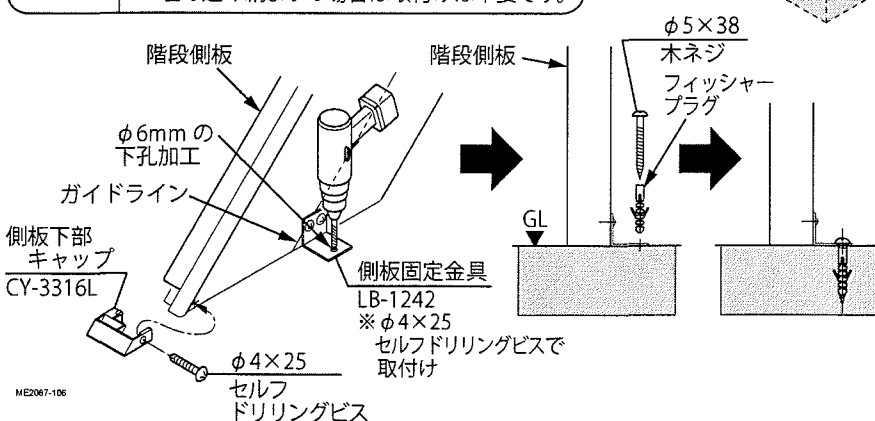
④図を参照して、階段を取付けてください。

⑤踏板の高さとレベルを再度調整して、踏板の取付ボルトを本締めし、踏板取付ブラケットを階段側板にビスで固定してください。



固定金具納まりの場合は、階段側板に側板固定金具と側板下部キャップを取付けてください。

※埋め込み納まりの場合は取付けは不要です。



※本図は、直線用鼻隠し・1段納まりの場合を示しています。

※()内寸法は、R用鼻隠しの場合を示しています。



●階段側板をコンクリートで確実に固定してください。

●施工完了後、前後・左右・上部より荷重をかけ、ぐらつきがないことを確認してください。

※本図は、階段左側の内観を示しています。

■施工工事店様、販売店様へお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。



新日軽株式会社

この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談室



0120-37-2534

新日軽インターネットホームページ <http://www.shinnikkei.co.jp>